

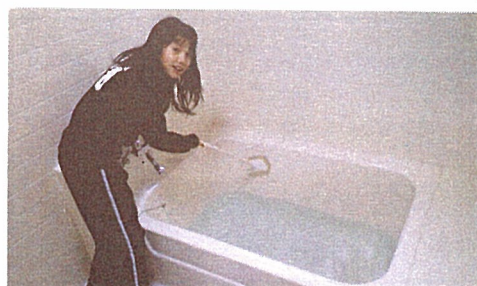
平成19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	浪合通年合宿センター入浴施設拡充事業
事業主体 (連絡先)	阿智村 (0265-43-2061)
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	10,447,500円 (うち支援金: 6,965,000円)

事業内容

同施設は従来より山村留学を実施していますが、山村留学同様のくらしを地区の子供たちがしたい、させたいという地元の声に応え、地区の子ども達の共同生活型体験教育活動の拠点整備をしました。

地区から、さらに村、県、近隣他県の希望者を「体験合宿生」として受け入れ、山間僻地の地区の誇りとなり、そうした機能を持つ山村留学に注目が集まり、山村留学の新機軸となり得、文教地区・阿智村浪合に全国からたくさん子どもたちが集まることとなり、地域の元気の一部を担うこととなります。



【浴槽の清掃作業】

自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

事業前は、浴槽1、シャワー2口がありました。これでは現状いる山村留学生14名とスタッフ2名が18時から22時の間に交代でなんとか入浴できる状態でした。(ひとりあたり155分程度)。完成後は、浴槽2、シャワー4口以上で、最大32人と倍の人数が入浴可能となりました。これにより事業として各回5~10名程度の子ども達を2泊程度、年間地元の子ども達に対して1.0回程度、一般募集で5回程度の共同生活型体験学習の実施が期待できます。

【目標・ねらい】

- 共同生活型体験教育施設の入浴施設を増築することで、地区の子どもたちをはじめとした各地各層の青少年に対する共同生活型体験教育を活発に実施できるようにすることです。

自己評価 (目標達成率) 【A】

今後の取り組み

村内の子ども達、及び県内、県外の子ども達も受け入れができるように広報で広く発信します。共同生活体験型教育活動により、教育の新しいスタイルを求め、発見できるよう活動を進めます。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。